

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	志茂つくし保育園
活動日時	2026年3月6日(金)
クラス名	もも組・ちゅうりっぷ組・ひまわり組
年間テーマ	音

1. 活動テーマ

<テーマ>

音楽会前日 どんな楽器があるかな? 音楽会の導入

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

翌日の音楽会で演奏する楽器はどんなものがある、どんな音がするのか、知っている楽器はあるのかななどの事前学習として設定した。また、音楽会への期待を膨らませるため。

2. 活動スケジュール

全クラスでプロジェクターから映し出される映像を見る。静止画を出し「これはどんな音がするのか?」と問いかけながら行う。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)


プロジェクター パソコン ミラーリングケーブル 子ども用いす

4. 探究活動の実践

<活動内容>

明日は何の日か子どもたちに問いかける。音楽会にはたくさんの楽器がくることを伝え、どんな楽器があって、どんな音がするのか保育者が問いかけ、子どもたちと一緒に考えながら活動を行う。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
<p>・保育者がこの楽器は何か知っている?と聞くと「ピアノ!ギター!」と言い、また知っている音楽が流れると曲名を答える姿があった。</p> <p>・子どもたちの記憶の中にある楽器の名前を思い思いに言う。保育者が楽器の名前を紹介すると復唱し名前を言う姿があった。</p> <p>・0歳児は聞いたことのある音楽がかかると笑顔になり、体を動かしたり、足でリズムを取る姿があった。</p> <p>・白いスーザフォンの静止画を見て「トイレットペーパー!」と言う姿があった。</p> <p>・同じ弦楽器のヴァイオリンを見てギターと言う子、サクソフォンを見てラッパという子どもの姿があった。</p>	

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気付き)

音楽会に向けイメージを持つことが必要だと思ったこと、明日が楽しみだと思える気持ち(期待感)を感じて欲しく行った。子ども達がこれまでに体験や経験を重ねた記憶の中にあるパズルを当てはめていくように、思ったことを口にする姿があり興味深かった。想像していなかった表現もあり、子どもたちの表現の豊かさに改めて驚かされた。